

# 市議会だより

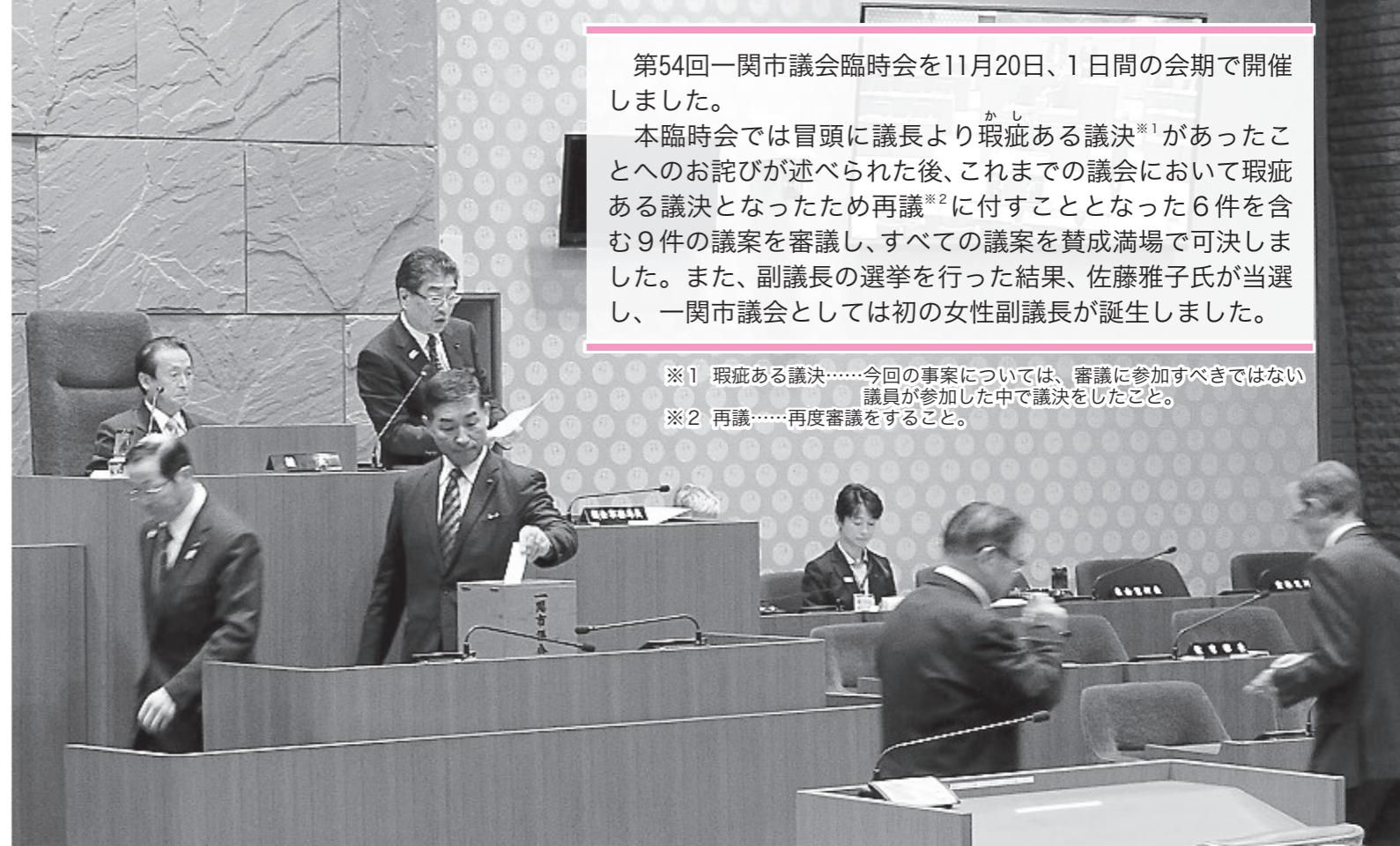


平成27年11月25日 岩手県立一関第二高等学校 市内高校生と議員の懇談会

# 再議を含む議案9件を可決!!

第54回一関市議会臨時会を11月20日、1日間の会期で開催しました。  
本臨時会では冒頭に議長より瑕疵ある議決<sup>※1</sup>があったことへのお詫びが述べられた後、これまでの議会において瑕疵ある議決となったため再議<sup>※2</sup>に付すこととなった6件を含む9件の議案を審議し、すべての議案を賛成満場で可決しました。また、副議長の選挙を行った結果、佐藤雅子氏が当選し、一関市議会としては初の女性副議長が誕生しました。

※1 瑕疵ある議決……今回の事案については、審議に参加すべきではない議員が参加した中で議決をしたこと。  
※2 再議……再度審議をすること。



副議長選挙の投票の様子

## 議案審議

審議された案件は次のとおりです。

### 選挙

○一関市議会副議長の選挙

有効投票 23票  
無効投票 7票  
当選者 佐藤雅子議員  
16票

○岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

議長の名推薦により、岩瀬善朗議員を選任。

### 再議

○指定管理者の指定

・花泉総合福祉センター  
管理する団体  
社会福祉法人一関市社会福祉協議会  
管理する期間  
平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

・千厩農村勤労福祉センター

管理する団体  
社会福祉法人一関市社会福祉協議会  
管理する期間  
平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

### 損害賠償

たに貸し工場を2棟整備するもの。  
契約金額 1億9764万円  
契約の相手方 株式会社平野組  
完成期限 平成28年8月19日  
・職員の職務中の運転による事故3件  
・市道の整備不良による車両破損事故1件

### 瑕疵ある議決の再発防止について

議長 千葉 大作

平成25年12月定例会の4議案と平成27年9月定例会の2議案で、利害関係のある議案の審議や採決に2名の議員が退席せずに加わったため、瑕疵ある議決となり、再議が必要となりました。  
市民の皆様をはじめ関係機関の方々には、議会への信頼を大きく欠く結果になりましたことに、衷心よりお詫び申し上げます。  
今後は次の項目を徹底し、再発防止に努めてまいります。  
(1) 除斥（議案の審議から除外すること）の対象となる役職の就任について調査を実施する。（本人、配偶者及び二親等以内の血族の一人身上に関する事件の場合は、議員自ら確認をし、その都度議長に申し出ることを義務付ける。  
(2) 地方自治法が定める除斥及び政治倫理条例が定める兼業の報告義務の趣旨を議員自ら自覚し、毎年度自らの役職を確認することを義務付ける。  
(3) 議長は、審議される議案に関し事前に除斥の対象となるか調査し、宣告により退席させる。  
(4) 人事案件や損害賠償の相手方など本人、配偶者及び二親等以内の血族の一人身上に関する事件の場合は、議員自ら確認をし、その都度議長に申し出ることを義務付ける。

### 補正予算

平成27年度一関市一般会計補正予算（第4号）

・9月11日からの「平成27年9月関東・東北豪雨」により発生した災害の復旧等にかかる経費について

### 請負契約の締結

狐禅寺地区貸し工場建設（建築）工事

地域産業の発展及び企業誘致の推進を図るため、新

平方メートル  
変更後  
一関市内1番60  
宅地 1718.58平方メートル  
貸付期間  
契約締結の日から貸付目的消滅の日まで

て、6億2618万6千円を追加。  
歳出の主なもの  
・土砂の流入による水路の閉塞、土砂崩れによる市道・農道などの通行止め等の災害が発生したため、土砂の撤去や被害の拡大防止などの応急対応及び復旧に要した経費。

## 佐藤雅子副議長 就任あいさつ



このたびの市議会臨時会において、副議長という重責のある立場に推挙され、身も心もその責任の重大さに緊張しております。

当市の直面する課題は、放射能汚染に対する住民不

安の解決策の対応、少子高齢化と人口減少の中で、安心して子育てができる生活環境の充実、また、ILC誘致の実現に向かって、国の決定を促す活動であり、これら一つ一つの課題解決に向かって議会と行政が、一体となって取り組んでまいります。

今後私共は議会人として自らの行動を厳しく律し、

議員としてふさわしい品位と識見を養いながら、新たな気持ちで市民の負託に答えられるよう努力してまいります。  
市民皆様方のご指導ご助言をいただき、議長と共に円滑な議会改革を全力で推進してまいり覚悟でありま

す。どうぞよろしくお願います。申し上げ就任のあいさつといたします。

# 放射能被害対策特別委員会

委員長 金野盛志

## 放射能汚染廃棄物処理について

今、当市の大きな課題のひとつに農林系を中心にした放射能汚染廃棄物の処理がある。

牧草については、大東清掃センターにおいて、周辺の方々のご協力、ご理解を得て、一般のゴミと混焼し、その灰は、東山清掃センターに埋め立てをしている。

市内の廃棄物は、このほかに稲わら、しいたけの原木及びほだ場の落葉層土壌があるが、当局では国や県との調整を図り、仮設焼却場を新設し、混焼する提案をしているが、合意形成に至っていない。

事故発生から4年以上経過する中、一時的に保管しているほど木等は、腐敗が進み、早期の処理を生産者等から要請されている。

その廃棄物は、大量であるが、特別委員会では環境省の公募で開発された瞬時に放射能濃度を測定する方法について、10月19日に15名が参加し福島県富岡町の現地



処理予定の除染廃棄物

実証試験を調査した。

トラック1台分の廃棄物が30秒で測定できる方法であり、どのような方法で処理するかは別にして、適正な処理を行う場合の参考になった。



放射線量測定器

富岡町は、福島第一原発に近接し、全町避難の状況である。現在、全域で除染を行っているが、帰還までは、相当な時間や条件整備しないと困難と感じた。地域全体が『せいだかあわだち草』に覆われている。

この惨状を見るにつけ、原発事故のすさまじさを改めて感じた。原発再稼働を推進しようとしている方々には、この現状を是非、見て頂きたい。

これらの処理は、しいたけ生産者などの個別の課題でなく、市民全体の課題として受け止めた対応を議会としても、これから検討や提言をしてまいりたい。

※混焼……焼却灰を一定のレベル以下にするための方法

## 【表紙解説】

今回で5年目の「市民と議員の懇談会」で初となる高校生を対象とした「市内高校生と議員の懇談会」を開催しました。

初回の会場となった一関第二高等学校では、たくさん報道関係者の取材が入る中、懇談会に参加した生徒たちが、真剣に話し、聞き、考え、活発な意見交換がなされました。

市民と議員の懇談会及び市内高校生と議員の懇談会については次号（2月1日発行）で詳しく掲載する予定です。

今回も多くの市民の皆様にご参加いただき、大変ありがとうございました。

## 議会報編集委員

委員長	橋本周一
副委員長	千葉信吉
委員	菅野恒信
委員	小岩寿一
委員	那須茂一郎
委員	佐藤盛浩
委員	金野盛志
委員	千葉満

## あしがき

師走に入り、今年も残すところ半月となりました。

戦後70年という節目の年「平和の尊さ」「大事さ」を様々な思いで、感じさせられた一年でありました。

先日、孫3歳の、七五三参りに行ってまいりました。休日ということもあり、多くの親御さんが子どもの健やかな成長を祈り詣でていました。子どもの晴れ姿を残そうと、汗をかきながらカメラのレンズを向けるお父さんお母さんの一生懸命な姿が、とても心温まる光景でした。

今日、平和が脅かされ、難しい時代を迎えています。平和な未来を子どもたち・若者たちに引き継ぐため、みんなで知恵を出し合いたいものです。

市民の皆様にとつて、よき新年を迎えられ、「笑顔」の一年でありますことをお祈り申し上げます。

副委員長 千葉 信吉